

1. JP,2564625,Y
2. JP,2572801,Y

JAPANESE [JP,2564625,Y]

CLAIMS DETAILED DESCRIPTION TECHNICAL
FIELD EFFECT OF THE INVENTION
TECHNICAL PROBLEM MEANS OPERATION
EXAMPLE DESCRIPTION OF DRAWINGS
DRAWINGS

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any
damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by
computer. So the translation may not reflect the
original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be
translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

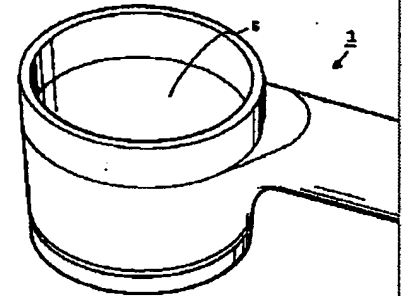
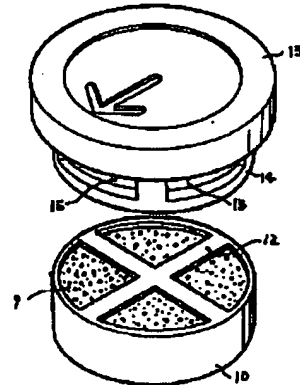
CLAIMS

(57) [Utility model registration claim]
[Claim 1] In the shower head which has
contained the cartridge member which formed
the hollow room in the head in which the
blowout hole was formed, and held mineral-ized
agents, such as a ceramic pellet object and
activated carbon Said cartridge member drills a
water flow hole in a base part, and the cross-
joint-like bridge formation section is constructed
over a top face. Installation receipt shall be
carried out on the annular step of a lower part
location rather than the water flow way of the
above mentioned hollow room. And this cartridge
member The shower head characterized by
being pressed down with the cap object whose
attachment and detachment used the soffit side
as the press object and were enabled at the
hollow room, and preparing the water flow
aperture in the press object of this cap object.

[Translation done.]

Drawing selection

drawing 1



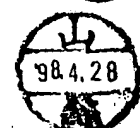
[Translation done.]

BEST AVAILABLE COPY

BACK NEXT

MENU SEARCH

HELP



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11) 実用新案登録番号

第2564625号

(45) 発行日 平成10年(1998) 3月 9日

(24) 登録日 平成 9 年(1997)11月28日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 0 5 B 1/18	1 0 1		B 0 5 B 1/18	1 0 1
A 4 7 K 3/22			A 4 7 K 3/22	
C 0 2 F 1/28			C 0 2 F 1/28	R
1/68			1/68	

請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平3-48310
(22) 出願日 平成 3 年(1991) 5 月29日
(65) 公開番号 実開平4-134443
(43) 公開日 平成 4 年(1992)12月15日

(73) 実用新案権者 000117685
安藤 正一郎
東京都目黒区中目黒 1-3-3 803号
フラワービル
(72) 考案者 安藤 正一郎
東京都目黒区中目黒 1-3-3
(74) 代理人 弁理士 佐藤 彰芳

審査官 加藤 友也

(56) 参考文献 特開 昭62-254859 (J P, A) 早川バブル"
特開 平4-222687 (J P, A) 根本千裕子

(54) 【考案の名称】 シャワーヘッド

1

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 噴出孔を形成した頭部に中空室を形成し、セラミック小塊物、活性炭等のミネラル化剤を収容したカートリッジ部材を収納してあるシャワーヘッドにおいて、前記カートリッジ部材は底面部分に通水孔を穿設し、上面には十字状の架橋部を架設し、前記した中空室の通水路よりも下方位置の環状段部に載置収納されるものとし、かつ、このカートリッジ部材は、下端面を押圧体とし、中空室に着脱自在とされたキャップ体で押えられるものとし、このキャップ体の押圧体には通水窓が設けられていることを特徴とするシャワーヘッド。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本考案はシャワーヘッド、主としてシャワールームの他浴室や洗面ユニットに装備される

2

ハンドシャワー用シャワーヘッドの改良に関する。

【0002】

【考案の背景】 一般的に、シャワーヘッドは給水設備の吐水口へホースを介して接続されているもので、吐水口は通常湯水混合栓が使用される。また、シャワーヘッドは浴槽内へ入れられることが予想されるためにバキュームブレーカ等の逆流防止装置が付けられ、ホースの取出口の高さ位置やホースの長さ等も規制されたものとなっている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のシャワー設備は上水道から給水設備を通して噴流を得るものであり、その上水道からの給水は飲料を前提としていることもあって殺菌処理が施されているため、カルキ臭が強く、また、その薬剤のために肌や頭髮への清涼感

が損なわれている。また、台所等の蛇口栓と異なり、ハンドシャワーの場合はそれを持って使用することも多いため清浄化装置を付加することもできないものとなっている。

【0004】

【考案の目的】そこで、本考案は上記した実情に着目してなされたもので、シャワー設備から得られる水流もミネラル化し、臭気を除去することで一層の爽快感、清涼感を得ることができるとともに、その清浄化剤を交換可能として装置としての永続使用を図ることができるシャワーヘッドを提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、本考案に係るシャワーヘッドは、噴出孔を形成した頭部に中空室を形成し、セラミック小塊物、活性炭等のミネラル化剤を収容したカートリッジ部材を収納してあるシャワーヘッドにおいて、前記カートリッジ部材は底面部分に通水孔を穿設し、上面には十字状の架橋部を架設し、前記した中空室の通水路よりも下方位置の環状段部上に載置収納されるものとし、かつ、このカートリッジ部材は、下端面を押圧体とし、中空室に着脱自在とされたキャップ体で押えられるものとし、このキャップ体の押圧体には通水窓が設けられていることを特徴としている。

【0006】

【作用】上記したような構成としたことによって、給水設備の吐水口から圧送された水は必ず清浄化剤のフィルターを通して噴出孔から噴出されることになり、得られた噴流は臭気ないミネラル化されたものとなるため、より一層の爽快、清涼感を得られるとともに、清浄化剤を交換可能としているため、シャワーヘッド自体は装置として永続して使用できるものとなる。

【0007】

【実施例】次に、本考案の実施の一例を図面を参照して説明する。図1は本考案を実施したシャワーヘッドの分解斜視図、図2は同じく断面図、図3は一部反転した平面図である。

【0008】これらの図にあって1はシャワーヘッド本体であり、このシャワーヘッド本体1はステンレス等の金属やプラスチック等の可塑性材で成形されている。また、このシャワーヘッド本体1は内部を中空の通水路2としたグリップ3を有しており、このグリップ3の尾部には給水設備としての混合栓等の吐水口に連結されているホース（図示せず）との接続用螺合部4が形成されている。

【0009】また、このシャワーヘッド本体1のグリップ3の頭部には上下に貫通した中空室5が形成され、その中空室5の下方部には多数の噴出孔6、6…を穿設した噴出部7が着脱自在に備えられている。

【0010】さらに、前記した中空室5の内壁面には通

水路2よりも下方位置に環状段部8が形成され、その環状段部8上に下縁を載置した状態で清浄剤9を収容した円板状のカートリッジ10が収納されている。このカートリッジ10は底面に通水孔11・11が穿設され、上面には十字状の架橋部12が渡されているもので厚さはその段部8と通水路2の高さと略一致されている。

【0011】上記した清浄剤9としては水中の塩素と反応して塩酸と硫酸カルシウムに変化させる亜硫酸カルシウム成分や前記変化した塩酸が反応してカルシウムやマグネシウムを適度に溶出させる炭酸カルシウムや炭酸マグネシウム成分のセラミック小塊物やカルキ臭を除去する活性炭等がランダムに配合されており、水のカルシウムイオン化を促すための炭酸カルシウムとしてはコーラルサンド等も用いることができる。また、これらの清浄剤9の粒子が通水孔11・11…より小さくなる場合等は全体をネット袋等に入れてカートリッジ10内へ収容させてもよく、かかる場合はネット袋ごとの交換が可能となる。

【0012】一方、図中13は中空室5の上部に着脱自在に取り付けられるキャップ体であり、このキャップ体13は中空室5の上縁に螺合や素材の弾性によるスナッピンで止着される。このキャップ体13の下面にはカートリッジ9の上面側縁とその下端面が当接する押圧体14が形成されており、その押圧体14には通水窓15・15…が設けられている。

【0013】本実施例に係るシャワーヘッドは上記のように構成されている。吐水口からホースを介して圧送された水（湯）はグリップ3内に形成された通水路2を通り、キャップ体13の押圧体14の通水窓15・15…からカートリッジ10内の清浄剤9を通して噴出孔6・6…より噴出されることとなる。そのため、供給される湯水は清浄剤9によってミネラル化され、あるいは臭気を除去されたものとなっている。なお、本実施例の構成によらず、細長のネット袋に清浄剤を入れ、通水路2中に配備すること等もできる。

【0014】

【考案の効果】上述したように、本考案に係るシャワーヘッドによると、ハンドシャワーとして使用したとしても清浄化装置が簡易化されているため邪魔になることもなく、また、重量的にも従来品と大きな差異は生じることがない。そして、得られる湯水の噴流はミネラル化され臭気が除去されているため、一層の爽快感、清涼感が得られ、皮膚や頭髮への薬剤による悪影響がなくなるものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案を実施したシャワーヘッドの分解斜視図である。

【図2】本考案を実施したシャワーヘッドの断面図である。

【図3】本考案を実施したシャワーヘッドの一部反転し

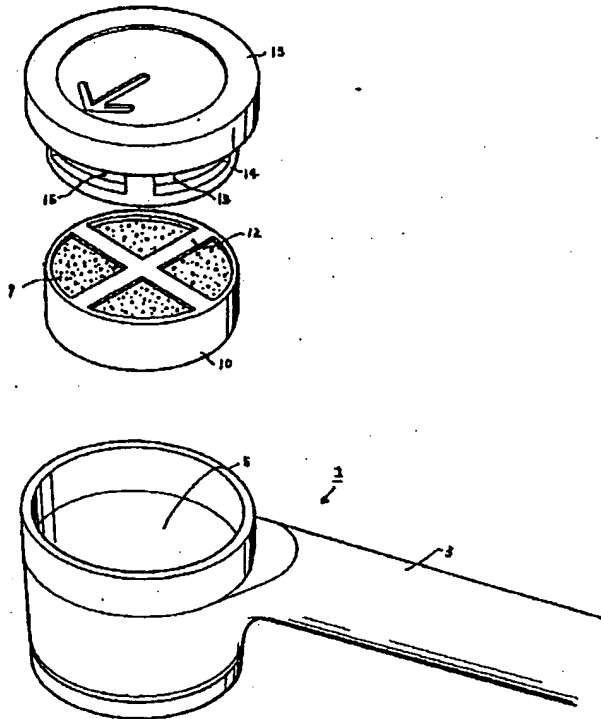
た平面図である。

【符号の説明】

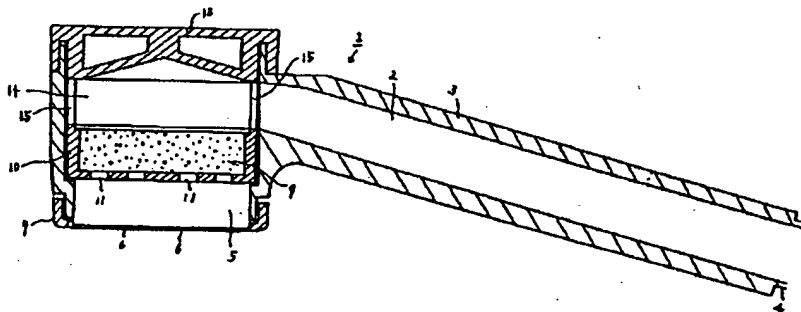
- 1 シャワーヘッド本体
- 2 通水路
- 3 グリップ
- 5 中空室
- 8 段部

- 9 清浄剤
- 10 カートリッジ
- 11 通水孔
- 13 キャップ体
- 14 押圧体
- 15 通水窓

【図1】



【図2】



【図3】

